



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
5

上矢作風力発電所

県下初の風力発電所



大船山頂に風車が並ぶ

ひとくちメモ

日本ではあまり標高の高い場所での風力発電所は多くなく、ここの発電所は日本ではかなり高所にあるもの。天気の良い日に展望台からの眺望は素晴らしく、夏季の高原独特の涼しさは格別なもの。

上矢作町大船山の標高 1,100 ㍎の高台にある大船牧場に、県下初の風力発電所として 2007 (平成 19) 年に運用を開始。風車はドイツ/エネルコン社製の 600 ㍎が 6 基と、800 ㍎が 7 基の計 13 基を設置し、最大出力は 9,200 ㍎。発電所は中日本風力発電㈱が建設し、総事業費は約 25 億円。風力発電は二酸化炭素の排出が極めて少なく、世界的にも積極的な利用が進められている地球温暖化防止対策に有効なクリーンエネルギー。

さわやかな風がわたる森林の中で、ゆっくりと回る巨大な風車は、訪れる人々に感動を与える。市ではこのエリアを「風の森」として、展望台や遊歩道などを整備し、地域間交流の場を目指している。

えな自慢
6

硬式用金属バット生産本数日本一のまち



各種の金属バットを生産

ひとくちメモ

環境問題が叫ばれる中、地球温暖化の抑制にもつながる自動車の軽量化に対し、アルミニウムの活用が高まっている。そうしたニーズに応えるため、テイネン工業㈱では、近年は自動車部品の加工が、多くのウェイトを占めるようになってきている。

長島町久須見、木曾川に架かる笠置橋のたもとにあるテイネン工業㈱は、住友軽金属工業㈱の 100 ㍎出資子会社。ここで生産される金属バットの本数は、甲子園で使われる金属製野球バットの約 5 割を占める。スポーツメーカーからのさまざまな仕様による金属バットの種類はざっと 50 種で、合金から製造方法までを開発し、一貫した生産設備で自社加工する。

以前はアルミ製弁当箱の生産で、国内のシェアナンバーワンを占めていたが、プラスチック製品や海外製品の増加、コンビニ弁当の利用により現在は生産中止。代わって近年は金属製野球バットをはじめ、自動車部品、空調用のファンなどを製造。

次号は 8 月 15 日号

発行日は 8 月 14 日(金)です

広報えな No.110

2009年(平成21年)

8月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目 1 番地 1 ☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』8月1日号、1部当たりの印刷経費は約 11.6 円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム

登録用 QR コード

問い合わせ 防災対策課(内線 317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。